

# VIII

# 愛媛県内で想定される地震

## 1 想定される地震

愛媛県地震被害想定調査では、愛媛県における活断層の分布状況や地震履歴から、愛媛県に大きな被害を与える可能性のある想定地震を設定しました。設定した想定地震は、以下のとおりです。

地震の名称	内 容	マグニ チュード	地 震 動
道前・道後地震 (想定地震1)	川上・小松断層セグメントが活動して発生する地震	7.6	松山平野、新居浜平野を中心に、松山市・西条市など県内13市町村の地域で震度6強。全県的に震度4以上の地域が分布
東予地震 (想定地震2)	石鎚-池田・三野断層セグメントが活動して発生する地震	8.0	県東部を中心に、新居浜市・西条市など県内10市町村の地域で震度6強。全県的に震度4以上の地域が分布
伊予地震 (想定地震3)	伊予断層が活動して発生する地震	7.1	松山平野を中心に、松山市・伊予市など県内8市町の地域で震度6強。全県的に震度4以上の地域が分布
伊予灘地震 (想定地震4)	伊予灘沖海底活断層が活動して発生する地震	7.8	伊予灘沿岸を中心に、大洲市・双海町など県内12市町の地域で震度6強。全県的に震度4以上の地域が分布
南海地震 (想定地震5)	安政南海地震 (1854)(相田,1981)	8.4	全県で震度5弱以上、県内約6%の地域で震度6弱の地域が分布

※地震の名称はこのパンフレットにおける仮称です。



### 地震用語の解説

#### ●活断層とは

最近の地質時代（第四紀：約170万年前から現在）の間に繰り返し活動し、将来も活動することが推定される断層が活断層です。内陸地震は活断層を発生源とします。

#### ●セグメントとは

中央構造線のような長さ100kmを超す長大な断層では、全区間が同時に動くのではなく、いくつかの分割された区間（セグメント）が個別に活動すると考えられています。一度に活動する区間をセグメントと呼びます。

調査内容		道前・道後地震 (想定地震1)	東予地震 (想定地震2)	伊予地震 (想定地震3)	伊予灘地震 (想定地震4)	南海地震 (想定地震5)		
液状化		松山市・新居浜市・西条市・東予市など埋立地、沖積平野等比較的地盤の弱い地域で危険性が高い。					左記に加え、県内の広い範囲で危険性が高い。	
山崖崩れ		急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所は、ほぼ全県に分布、地震時には崩壊の危険性がある。						
建築物被害	揺れ	全壊	58,224棟	39,227棟	26,320棟	20,140棟	74,291棟	
		半壊	168,411棟	133,729棟	125,071棟	134,275棟	206,842棟	
		合計	226,635棟	172,956棟	151,391棟	154,415棟	281,133棟	
	液状化	全壊	2,491棟	2,204棟	1,839棟	1,834棟	2,202棟	
		半壊	4,609棟	4,047棟	3,418棟	3,379棟	4,116棟	
		合計	7,100棟	6,251棟	5,257棟	5,213棟	6,318棟	
塀倒壊	ブロック塀	11,830件	7,840件	5,351件	4,127件	15,096件		
	石塀	4,728件	3,132件	2,137件	1,649件	6,035件		
	合計	16,558件	10,972件	7,488件	5,776件	21,131件		
火災被害 (冬18時)	出火件数	239棟	166棟	124棟	111棟	311棟		
	焼失棟数	11,362棟	237棟	42棟	34棟	98棟		
交通・輸送被害	道路施設	緊急輸送路被害箇所数	209箇所	178箇所	149箇所	125箇所	134箇所	
	鉄道施設	被害箇所数	316箇所	277箇所	269箇所	253箇所	236箇所	
ライフライン被害	上水道施設被害	断水世帯数	260,616戸	173,355戸	167,139戸	121,889戸	329,409戸	
		断水率	53.5%	46.0%	29.5%	21.5%	58.2%	
		復旧日数	34日間	29日間	28日間	26日間	38日間	
	電力施設被害	電柱被害本数	978本	849本	484本	528本	442本	
		停電戸数	94,544戸	86,209戸	55,374戸	65,262戸	59,378戸	
		停電率	12.5%	11.4%	7.3%	8.6%	7.8%	
	下水道施設被害	支障人口	8,927人	7,956人	6,311人	6,008人	6,232人	
		被害率	1.8%	1.7%	1.2%	1.2%	1.3%	
	都市・LPガス被害	供給停止戸数	38,658戸	7,273戸	20,016戸	5,991戸	15,556戸	
		機能支障率	6.8%	1.3%	3.5%	1.1%	2.7%	
	電話	一般電話	地震による電話機自体の故障、輻輳等により電話が使えない状態が発生する。					
		携帯電話	一般加入電話以上に輻輳する可能性が高い。					
人的被害及び生活機能支障	想定死者数	2時(発生時刻)	死亡	2,666人	1,719人	1,247人	876人	2,987人
			重症	584人	449人	420人	402人	642人
			中軽症	41,815人	32,368人	29,960人	28,490人	45,905人
			合計	45,065人	34,536人	31,627人	29,768人	49,534人
		18時(発生時刻)	死亡	2,453人	1,477人	1,149人	773人	2,556人
			重症	605人	456人	416人	402人	648人
			中軽症	42,201人	32,681人	29,901人	28,642人	46,363人
	合計	45,259人	34,614人	31,466人	29,817人	49,567人		
	日常受療困難者数	入院	11,224人	7,664人	6,692人	5,928人	11,888人	
		外来	42,820人	29,240人	25,549人	22,609人	45,376人	
		出生	7人	5人	5人	2人	7人	
		合計	54,051人	36,909人	32,246人	28,539人	57,271人	
	避難生活者数	1日後	313,319人	218,728人	189,610人	172,754人	339,493人	
		1週間後	349,674人	243,423人	210,599人	186,001人	383,950人	
		1ヶ月後	221,327人	152,581人	132,133人	119,386人	233,567人	
自主再建困難者数		69,270人	36,827人	28,204人	18,636人	60,945人		